

## 平成25年度「みんなの審査会」～市民参加型事業評価～審査結果詳細

事業番号	1-③	事業名	国際交流プラザ管理運営事業			
所管	文化観光	局	国際	部	国際	課

### 【事業内容】

堺市立国際交流プラザにおいて実施する各種事業(外国人生活支援の推進事業、姉妹友好都市交流事業など)の円滑な運営を確保すべく、主としてハード面の管理運営を行う。

総コスト(千円) (平成24年度決算額) 24,313千円 (平成25年度予算額) 20,723千円

### 【市民審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

#### 【今後の方向性】

<市民審査員>						<検討委員(参考意見)>					
今後の方向性	事業の方向性	拡充		1	4	今後の方向性	事業の方向性	拡充		2	1
		現状維持	2	10	1			現状維持		2	
		縮小						縮小			
		廃止						廃止			
			ゼロ	縮小	現状維持			拡大		ゼロ	縮小
公金投入の方向性						公金投入の方向性					

#### 【今後の方向性】《事業の方向性—公金投入の方向性》を選択した理由

##### 《拡充—現状維持》

- ・認知度アップのためのPR方法を検討頂きたい。可能であれば、サテライト的に他の区にも設置できれば好ましいと思う。
- ・「日本国民(堺市の日本人)をも含めて積極的に利用している施設」に将来はなってほしい。
- ・ボランティアの人たちと協力してもっと認知度を上げるべきだと思った。1か所だけではなく、数か所にそういう場所を設置した方が良かった。

##### 《拡充—拡大》

- ・プラザが拠点として機能するためには、「人材」が重要。広報の強化、多セクターとの連携事業の開発、財源開発(助成金、協賛金)を担うのは人であるから。コーディネート力、企画力等を有する人材を登用し、継続的に働けるような体制が必要。市から説明があった各区にプラザ機能を設置する案は是非取り組んでもらいたい。但し、運営については検討が必要と思われる。
- ・各区別分による「プラザ」の支部を区役所内に作るようにする。堺東まで来るのに交通費の負担が大きい。
- ・将来、本当の多文化共生社会といえる社会になるまでは、必要であり、もっといろんな人が活用できる機会があればいいです。日本から外国に行く人のために日本で暮らしているその国の人と事前に話できるサービスとかあったら嬉しいです。お互いのために有意義です。
- ・各区にプラザを設けた方が良いと思う。(南区からは遠い)
- ・認知度を上げるためのPR。今後ますますグローバル化をしていく中で必要不可欠なものと判断しました。

##### 《現状維持—縮小》

- ・事業について負担能力のある人々からは利用料徴収を検討すべきだと思う。
- ・市民が直接サービスを受けている実感が今の状態では小さい。偏りがないように。

##### 《現状維持—現状維持》

- ・外国人の生活支援のためには国際交流プラザの機能は必要と考えます。したがって、現状維持とします。
- ・当該事業に関しての需要を定量的に把握することが難しいです。そのため、現時点では現状維持とさせていただきます。
- ・まだまだ市の施設で利用できる場所があると思えるため。箱物については区役所や図書館などの利用を考え事業内容のソフト面を住人数増加を考慮してからで良いと思う。

## 【今後の方向性】

- ・外国人住民人口の増減、新たに必要なサービスの追加に応じて予算の増加も必要と思います。
- ・役所の考え方がばかりで、外国の方の性格等考えてください。
- ・市民参加のボランティアの活用。
- ・活動状況を市民にもっと分かるよう活動してほしい。
- ・施設の選定は別にして、拠点は必要だと思います。
- ・国際交流プラザの利活用は現状のままでも良いと思うので、外国人や市民に国際交流プラザの存在を知ってもらい、より多くの人に利用してもらえるようにするべきだと思う。
- ・交流プラザの利用人数が23年から24年にかけて20%ばかり減少しているから。
- ・PRの前向きを打ち出す。
- ・グローバル社会において必要だと思うが、認知度を上げて有効利用していくべきだと思います。

## 《現状維持—拡大》

- ・PR活動、多文化共生社会の推進について市民に広めてほしい。

## 【改善策について】(複数回答あり)

		市民審査員	検討委員
改善すべき点	事業の実施内容について見直しが必要(サービスそのもののあり方等)	7	1
	事業規模について見直しが必要(サービスの水準や対象者等)	6	3
	関連事業とのあり方について見直しが必要(統合や再編を含めたあり方等)	5	1
	サービス受給者の負担(受益者負担)について見直しが必要	3	0
	市以外からの財源の確保について見直しが必要	5	0
	担い手のあり方について見直しが必要	3	1
	その他	1	1

## 【具体的な改善策提案】※【今後の方向性】で選択した《事業の方向性—公金投入の方向性》ごとに記載

## 《拡充—現状維持》

- ・ボランティアさんをマネジメントする人材の登用。ホームステイ受け入れ先の拡充。
- ・市民の国際交流プラザの認知度はきっと低いと思うので、もっと認知度を上げる。
- ・イベントを開催(国際料理をみんなで作ったり)市民と外国人の交流の機会をもっとつくる。

## 《拡充—拡大》

- ・多文化共生の重要なキーワードは「人権」。プラザのスタッフの雇用形態が人権の観点にのっとってなされるよう望みたい。プラザ独自の新規事業は難しくても、教育委員会等と連携し既存事業が発展するようにしていくことで推進できる。外国人ボランティアスタッフが日替わりで常駐するなど、訪れやすい雰囲気づくりも必要。開館は土曜日でも必要ではないか。外国人、日本人共に日曜日の方が利用しないのではと思われるので(他市の事例から)。
- ・プラザ発のインターネット等を利用して、各々市民への情報として理解をしてもらう。市民が近くの外国人に対して、「プラザ」を利用してほしいとの連絡ができるようにする。
- ・地域の方や子どもたちや、日本から外国に留学や仕事に行く人との交流など。
- ・各町内会レベルへの働き掛けをして欲しい。(自治会館の利用)
- ・祭り等への外国人の参加がしやすいように町内会へ働き掛け。
- ・国際交流プラザとして独立するのではなく、堺市の中にあっても良いと思う。堺市民との交流というポイントに着目したイベントなどを積極的に行っていけばどうでしょうか。

## 《現状維持—縮小》

- ・各種利用料徴収も、負担能力からみて適正な範囲で負担させることを検討すべきである。
- ・市民へのアピール方法を考え直す必要があるのでは。

## 【改善策について】

## 《現状維持—現状維持》

- ・国際交流プラザのサービスですが、職員数(人件費)が減少しているようです。サービス水準が落ちないような配慮を望みます。
- ・当該事業に関する需要を捕捉することは難しいと思いますが、アンケート調査等を利用して、できるだけ需要の定量化に努めていただきたいと思います。
- ・市役所、区役所の庁舎内にスペースを確保できないか。
- ・役所の方も勉強しボランティアにたよらないで外国語も勉強して下さい。
- ・費用対効果が見えるように。
- ・外国人生活支援事業と一本化(ハードとソフト一体した方が活動内容が分かりやすいのでは)。
- ・交流プラザの内容については十分に広範囲にまたがって問題ないと思いますが、PRが足りないのではないのでしょうか。例えば、堺区の中瓦町のビルの5階と言われても何というビルで地理上どこにあるかということ。
- ・必要な人に必要なサービスを心がける。
- ・堺市だけでなく国からも支援等を受けても良いと思う。上手く有効利用して利用が減れば縮小すればよい。

## 《現状維持—拡大》

- ・全く知らなかったので詳しく内容を知りたいと思いました。

## 【自由記入欄】

- ・住民サービスの一環として、外国人住民の方にもよりよい町となるよう、充実させる必要があると思います。
- ・この事業を知っている人は少ない。もっと地域にマッチするように地域密着型でよろしく。